食と農を未来へつなぐ

県本部通信

Monthly Zen-noh Gunma
11
2022 November
No.246

This month's photo

草津温泉湯畑（吾妻郡草津町）

Contents

事業のうごき
JAピックアップ！
インフォメーション
アートクッキング
農業チャレンジャー
花木流通センター便り

©群馬県ぐんまちゃん

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。
私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。
JA全農ぐんま
https://www.zennoh.or.jp/gm/

事業のうごき

畜産農産部

▶酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進
○渋川家畜市場の和牛及び乳用牛の集荷･販売推進

▶米麦特産課

○令和４年産大豆集荷推進
○令和５年産民間流通麦播種前契約面積作付推進
○こんにゃく生玉販売推進
10月20日～12月15日
○こんにゃく製品セット冬季特別推進
11月１日～12月末日

園芸部

▶園芸販売課

○共計ホウレンソウ販売（周年）
○共計チンゲンサイ販売（周年）
○共計味ニラ販売（周年）
○県統一規格共計露地ナス販売（11月末日迄）
○共計干大根販売（12月中旬迄）
○県統一規格共計キュウリ抑制販売（12月末日迄）
○共計下仁田ネギ販売（１月末日迄）
○共計上州ネギ販売（２月末日迄）
○共計シュンギク販売（３月上旬迄）
○共計土ネギ販売（３月中旬迄）

▶販売促進課

○秋冬野菜販売促進
○もやし類・加工野菜販売促進

▶園芸資材課

○冬用野菜出荷資材予約・当用推進
（段ボール・パック・フィルム・果実用資材他）
○温床資材予約推進（農ポリ・トンネル資材・
カーテン資材・コンニャクマルチ他）
○春まき用野菜種子推進
（ホウレンソウ・ネギ・キュウリ他）
○種馬鈴薯予約注文とりまとめ

生産資材部

▶花木流通センター

○植木まつり・フラワーセール
11月３日(木)～６日(日)

▶肥料農薬課

○セルフブレンド推進
○麦肥料農薬推進
○茎葉処理除草剤大型規格推進
○バンカーシート推進

▶担い手推進課

○大規模・系統未低利用生産者への推進支援
○ＪＡの出向く体制強化支援

▶施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進（周年）
○住友不動産（株）「新築そっくりさん」推進（周年）

生活燃料部

▶生活課

○蓄電池推進（周年）
○シロアリ防除事業推進（周年）
○ＪＡタウン取扱品目拡大
○上州もみ切りうどん推進（10月～12月）
○仕込み味噌推進（10月～３月）
○ＪＡ全農ミートフーズお歳暮ギフト推進
（11月～12月）

▶葬祭センター

○ペット火葬推進（周年）
○墓石事業取扱拡大推進（周年）
○登利平料理取扱拡大

▶石油課

○秋期オイルキャンペーン（９月～11月）
○秋期タイヤキャンペーン（10月～12月）

▶ガス課

○ガス・でんき新規獲得推進（４月～３月）
○給湯器燃料転換推進（４月～３月）
○ガス器具推進（４月～12月）
○秋の厨房機器推進（10月～12月）

TAC及び営農・経済渉外活動研修会

担い手推進課は９月22日（木）、ＪＡビルで「令和４年度ＴＡＣ及び営農・経済渉外活動研修会」を開催し、県内各ＪＡより24人が参加しました。講師に一般社団法人　農協流通研究所　人材育成コンサルタント　大塚晴美氏を迎え、「出向く活動スキルアップ研修」を実施しました。「商談力の基本を身につけ、訪問営業に活かす」「対人能力の向上を図り、お客様との関係構築につなげる」をテーマに、班にわかれてディスカッションやロールプレイングを行い、推進活動に必要なスキルを研修しました。

全国食肉学校卒業記念感謝祭

９月25日（日）、公益社団法人　全国食肉学校で「総合養成科（前期コース）第58期生の卒業記念感謝祭」が開催されました。普段は㈱北海道畜産公社（ＪＡグループ）や精肉店などで働く、全国から集まった８人の学生は、習得したカット技術を活かし、お客様への感謝の気持ちを胸に、上州牛、上州麦豚の精肉や総菜、そしてハム・ソーセージ・ベーコンなどを販売しました。今回の感謝祭で代表を務める森脇正登さん（30）は「北海道に戻り、習得したカット技術と知識を活かして頑張りたい」と笑顔で答えてくれました。

きのこ栽培技術研修会

９月27日（火）、園芸販売課が事務局を務める群馬県きのこ振興協議会は「きのこ栽培技術研修会」をＪＡビル大ホールで開催しました。この研修会は、協議会会員生産者の栽培技術の向上、経営の安定と会員同士の交流ならびに情報交換を図るため開催しています。今回は講師に一般財団法人　日本きのこ研究所所長　田中徳夫氏を迎え、「輸入菌床とシイタケの原産地表示について」の講演会が開催され、参加者は講師の話に熱心に耳を傾けていました。

米の集荷・販売対策並びに麦の生産流通対策会議

10月５日（水）、米麦特産課は「令和４年産米の集荷・販売対策並びに麦の生産流通対策会議」を開催し、各ＪＡ担当者、群馬中央会、米麦大豆振興協会他関係者約30人が出席しました。会議では、米の情勢や令和４年産米集荷の取組みなどについて担当者より説明がありました。今後の作柄変動・需要変動を注視していく必要があることや、米買取契約に伴う事務手続き、民間流通麦の生産流通対策について、麦類の集荷見込みや小麦の価格推移、令和５年産の集荷販売方針などが説明されました。

収穫感謝祭2022

10月２日（日）、ＪＡビル大駐車場で「ＪＡグループ群馬収穫感謝祭2022」が開催され、県内外から約7,000人が訪れました。2019年以来３年ぶりの開催となった「収穫感謝祭2022」は、安全で新鮮な県産農畜産物を消費者に直接提供し、群馬の農業を盛り上げることを目的に開催されました。また、コロナ禍や資材価格高騰など厳しい情勢の中、頑張っている生産者を応援するため県産農畜産物の消費拡大を呼びかけました。県本部は、秋野菜苗や漬物、米粉商品、エーコープマーク品、ガス器具など生活応援用品を販売しました。県内９ＪＡは旬の農産物や特産品を販売し、午前中には完売したＪＡもありました。「国消国産クイズラリー」や「群馬の野菜チャリティ抽選会」など来場者参加型のイベントも開催され、大盛況のなか幕を閉じました。

▲テープカット

▲来場者で賑わうJAテント

▲「群馬製粉㈱」焼きだんご・米粉製品の販売

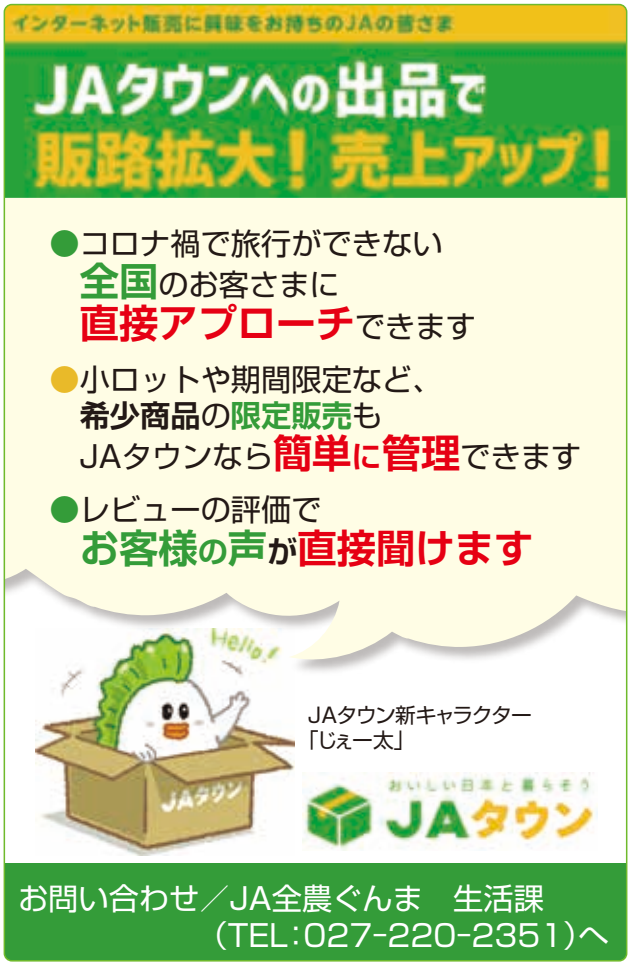
▲「㈱したら」漬物製品の販売

▲「花木流通センター」秋植え野菜苗・花苗などの販売

▲「㈱Aコープ東日本クミックス事業部」長靴・手袋・作業帽子などの販売

「第12回全国和牛能力共進会」開催

10月６日(木)～10日(月)、鹿児島県で「第12回全国和牛能力共進会」が開催されました。群馬県からは、繁殖雌牛５頭、去勢肥育牛２頭、高校・大学の部１頭、計８頭が出品し、全対象区で優秀な成績を収めました。生産者、関係者等が真剣に牛と向き合ったからこそ、努力が結果につながりました。酪農畜産課の職員は「今後も上州和牛の魅力を全国に発信できるように、ＪＡ全農ぐんまの職員として生産者を支えていきます」と話しました。



農業チャレンジャー

農チャレ

「若手農業者との交流を通じて地域の農業を支えたい！

JA太田市管内 清水　拓哉さん

＼ Profile ／

清水 拓哉(しみず・たくや)さん

1984年生まれ　38才

栽培品目：ホウレンソウ、小玉スイカ、モロヘイヤ、シソ、コマツナ

面積：ハウス…1ha、路地…7a

趣味：古着収集、格闘技観戦、映画鑑賞

—今回の農業チャレンジャーは、JA太田市管内でホウレンソウを生産する清水さんです。

—就農時期は？

８年前、30才で就農しました。

—就農のきっかけは？

両親と祖父母で農業をしていたのですが、祖父母が引退することになり、弟妹は家を出ていたので、私が就農して両親を手伝うことにしました。

—就農されていかがでしたか？

就農する前は東京で介護の仕事をしていました。仕事内容が全く違うので、１から両親のもとで修業中です。

—年間のスケジュールを教えてください(生産～出荷まで)

ホウレンソウは年間４回収穫しており、播種から１ヶ月～40日で収穫になります。冬12月から３月がピークです。小玉スイカは一番果のみ出荷しているので４月に播種して６月後半収穫します。モロヘイヤは５月に播種、６月から８月末まで収穫します。

—心掛けていることは？

私自身、農業に関してはまだまだ修行の身なので、今は雇用している３人の外国人研修生の教育係をしています。初めての日本で言葉も分からず、不安も多いと思います。言葉がわからなくても効率的に作業ができるように、工夫して教育しています。

—どんな時にやりがいを感じますか？

外国人研修生がいなければ農業を続けることは大変です。両親と研修生と、力を合わせて美味しい野菜を出荷できた時はやりがいを感じます。

—今後の展望をお聞かせください。

今後は小玉スイカを増やしたいです。薮塚は小玉スイカの一大産地です。贈答品としても喜ばれる小玉スイカの出荷はやりがいを感じます。それから、若手農業者が少ないので、ぜひ他地域・異品種の若手農業者と交流が持てたら、と感じています。情報交換や悩みなど相談できたら、モチベーションも上がるのではないかと思います。

—農家の担い手不足が叫ばれる中、就農を選択した清水さん、他の若手農業者との交流が実現し、大切な農業の維持・発展への貢献を期待します。

JAピックアップ！
～JAの活動をご紹介～

JA利根沼田

▲ 親子農業体験（２回目）

親子農業体験
親子で食と農業学ぶ

JAは８月20日、沼田市利根町の笛田農園で今年２回目となる「親子農業体験」を開き、５組14人が参加しました。

JAでは食農教育の一環として、赤城西麓土地改良区と利根保健生活協同組合と連携し、年３回の日程で「親子農業体験」を開催しています。

コロナ禍の影響で開催は３年ぶり。２回目の今回は、群馬テレビ「みどりの風」の収録も行われ、１回目（５月21日）に種まきをしたトウモロコシとニンジンの収穫と、ミニ白菜の定植、３種類の大根の種まきを体験しました。

また同日、利根保健生活協同組合担当者による食育教室も開かれ、夏野菜の栄養素について説明が行われたほか、同組合が主催するフードドライブ活動「おすそわけ」に、みんなで植えた野菜を分けてほしいと呼び掛けました。

JA赤城たちばな

高品質安定生産を目指し
ズッキーニ目ぞろえ会

JAは９月28日、営農生活センターでズッキーニ目ぞろえ会を開き、集まった生産者10人が品質確認や出荷基準を学びました。秋獲りズッキーニの規格をそろえ有利販売に繋げるため、毎年この時期に行っています。

JA担当職員が形状や色沢などの出荷規格を説明し、現物を見ながら詳細に目ぞろいを行いました。

また、曇天が続いたため、ベト病などの予防的防除のため銅剤を散布する事や、ヨトウムシ、メイガが大発生していることからハウス内への入り込みを考えた防除を呼びかけました。

部会として出荷規格を厳守して品質の維持向上を目指すとともに、品質の安定した生産を行えるよう申し合わせました。

▲ 規格の統一を確認する生産者

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
お野菜キングダムⅢ（11月号）／JA群馬中央会	11月７日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※11月13日(日)	AM 8:00～ 8:30
Aコープ(案) ／Aコープ東日本	11月14日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※11月20日(日)	AM 8:00～ 8:30
ヤマトイモ・ブロッコリー(案) ／JAにったみどり	11月21日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※11月27日(日)	AM 8:00～ 8:30
下仁田ネギ・コンニャク芋(案) ／JA甘楽富岡	11月28日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※12月４日(月)	AM 8:00～ 8:30

中村 柚貴子アナ

Art Cooking

白菜とお揚げのミルフィーユ煮びたし

材料

4人前　（1人分167kcal）

白菜……5枚
油揚げ……5枚
ショウガ……1かけ
干し椎茸……2枚

片栗粉……大さじ1
水……大さじ1

★
だしの素……小さじ1
めんつゆ……大さじ2
しょうゆ
……大さじ1と1/2
酒……大さじ1
みりん……大さじ2

作り方

1 白菜は洗って縦半分に切る。油揚げは四方を切り縦半分に切る。ショウガは針ショウガに切る。干し椎茸は水（分量外）で戻す。
2 白菜に油揚げをはさみ、２組作る。木綿糸で縛る。
3 鍋に**2**の白菜を入れ、戻した干し椎茸と戻し汁と水（分量外）を加え、ひたひたにする。★を加え、落し蓋をして中火～弱火でコトコト煮る。
4 **3**の煮汁が半分くらいになったら白菜を取り出し1㎝幅に切る。
5 残りの汁１カップを小鍋に入れ、水溶き片栗粉でとろみをつける。
6 器に**4**の白菜を盛り、**5**のあんをかけ、針ショウガを天盛にする。

Food adviser **石垣 惠美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

花木流通センター便り

開催日	内　容
11月3日㈭～6日㈰	植木まつり・フラワーセール

開催日	栽培講習会
11月2日㈬　10:00～12:00	タマネギ栽培講習会

●定 休 日▶毎週火曜日
※店内では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

KABOKU
花木流通センター

新鮮ぐんま みのり館

	営業時間	定休日
花木流通センター	4～5月:9:00~17:00 6～3月:9:00~16:00	4月～6月:無休営業 7月～3月:毎週火曜日定休
みのり館	4～3月:9:00~17:00	年末年始を除いて無休営業
榛名十文字うどん	4～3月:11:00~14:30	

店舗ご案内図

花木流通センター南側道路が、工事中につき通行できません。北側入口よりお入り下さい。

住所・お問合せ
前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

＼始まっています／みんながトクする

JAでんき

JAグループだから 簡単！安心！安い！

JAでんきとは
組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の
料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。
切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

お手続きも安心 担当者が直接ご訪問

お申し込み・ご相談はお電話、またはお近くのJAでんき代理事業者へ。
おトクな料金メニューをご紹介いたします。

切替は簡単！

step❶ 所定の申込書と検針票の準備
※現在のご契約内容が分かるもの

step❷ JAでんき代理事業者または JAでんき担当者へ提出
※お客様には電力会社への解約連絡などを含め切替手続きは一切発生いたしません。

step❸ 指定メールアドレスへ切替日程等ご案内送付
※迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、メールが受信できない場合がございます。（@zec.jp）を受信設定してください。

詳しくはこちらから！
https://zennoh-energy.co.jp/ja-denki/

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番　JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。

□発行／令和4年11月1日発行　□発行人／高田　宗徳　□ホームページアドレス／https://www.zennoh.or.jp/gm/　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画経理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2229

R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。